

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>研究の名称 「大腸疾患患者における血清 IFN-<math>\gamma</math> 値の評価」</p> <p>研究の対象 2018年5月～2021年4月に当院で、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病、ベーチェット病など）、大腸癌、感染性腸炎、過敏性腸症候群などの大腸疾患と診断された成人の方 200名</p> <p>研究の目的 IFN-<math>\gamma</math> は、炎症や感染症などの免疫応答に関わるタンパク質です。近年、慢性 B 型肝炎の患者さんに特定の核酸アナログ製剤が投与された場合ある種の IFN-<math>\gamma</math>（IFN-<math>\gamma</math> 3）が上昇し、特定の B 型肝炎ウイルス抗原を低下させることが報告されました。興味深いことに、その際の IFN-<math>\gamma</math> 3 は実験的には大腸粘膜の細胞から産生されていることがわかっています。しかしながら、どのような大腸の病気で、また、どのような治療で、どのように血清 IFN-<math>\gamma</math> 値が変化するのかよくわかりません。 本研究の目的は、IFN-<math>\gamma</math> の血清値を様々な大腸の病気の患者さんに測定させていただき、IFN-<math>\gamma</math> がどの大腸疾患で、どのような治療で変化するのかを評価することです。</p> <p>研究の期間 2018年5月より2021年4月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では IFN-<math>\gamma</math> の測定のため、検体を匿名化し、国立研究開発法人国立国際医療センター肝炎・免疫研究センターに委託します。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、カルテ番号 等 試料：血液等</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

利用する者の範囲	共同研究機関の名称及び研究責任者 該当しません。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究責任者 浜松医科大学 臨床検査医学講座 岩泉守哉
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いいたします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部 臨床検査医学講座 担当者：岩泉守哉 TEL:053-435-2870 E-mail : iwaizumi@hama-med.ac.jp